

Interview

楽団員インタビュー Vol.59

“音楽が好き”という 一心で一念発起

第1ヴァイオリン 豊田 泰子

Yasuko Toyoda, 1st Violin



◆楽器を始めたきっかけは？

両親がクラシック音楽好きで姉兄もヴァイオリンかチェロかを習っていたため、物心つく頃にはヴァイオリンを習っていました。

◆オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

最初に習ったのがスズキ・メソッドの教室で合奏の機会が多かったこともあり、1人で弾くよりも人と合わせるのが昔から好きでした。小学生の頃、地元でジュニアオーケストラが設立され入団。今思えば、この頃もっと真面目に取り組んでいれば……。紆余曲折あり一般大学に進学、普通に会社勤務をする傍ら、色んなアマオケに行ったり友人達とアンサンブルをしたりして音楽を楽しんでいたのですが、30歳を目前にして「果たして自分の人生、これでいいのか?」と思い始め一念発起。ただ好きという気持ちだけを胸にこの道に足を踏み入れ突っ走ってきた結果、色んなタイミングとご縁に恵まれ今に至ります。

◆好きな作曲家・曲は？

基本的にはその時弾いている曲を好きになるのですが、割とずっと好きなのはベートーヴェン、ブラームス、ドヴォルザークあたりですかね。思い出と紐付いて好きな曲もあり、中でもメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲は就活時期にオケで取り組んでいた曲で、あの頃の夢や希望、葛藤とかとにかく色んな想い出に溢れていて、2楽章に差し掛かるといつも泣きそうになります。自分にとってとても大切な曲です。

◆ヴァイオリンの魅力は何ですか？

弦楽器全般に言えることですが、楽器本体、弓、奏者、これらの組み合わせによって音色がガラッと変わるところ。弾きこみ方によって良くも悪くも音が変わって

いくので、どんどんその人らしさが出てくるというか。

◆好きなヴァイオリン奏者は？

あまり特定の人をつくらず曲によって聴き分けていたのですが、ここ数年は専ら榎本大進さんです。ピアノとのデュオを初めて生で聴いたとき、力強い音から繊細な音まで音色の変化と表現の幅に圧倒されました。室内楽を本当に楽しそうに弾いている姿も素敵だなと思います。

◆使用している楽器について教えてください。

イタリア・ジェノバのチェザーレ・キャンディ、1925年製です。

◆山形でお気に入りのもの、場所はありますか？

珈琲の香り漂う昔ながらの喫茶店とか、霞城公園の木々に覆われた散歩コースとか。時間が許すならば、そういう場所で小説を読んだり、何もせず何も考えずただぼーっとしてたいです(笑)

◆趣味や特技はありますか？

仕事で名古屋に住んでいた頃、土日が暇すぎて色んな喫茶店のモーニングを食べ歩いたのをきっかけに、カフェ・喫茶店をめぐるのが何となく趣味になりました。ここにこんなお店があるんだ〜とか、お洒落な家だな〜とかぶらぶら散策するのも好きです。

◆最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

いつも山響を応援、コンサートにも足をお運びくださり誠にありがとうございます。今年度は「ドラマティック」をテーマに、ワクワクするような魅力的なプログラムが目白押しとなっています。聴いてくださる皆さまがいて初めて完成する音楽、ぜひ会場で私たちと一緒にドラマを作っていっていただけると嬉しいです♪